

Red Cross Gifu

赤十字だより ぎふ

Vol.25

発行日
平成26年1月1日

編集・発行



日本赤十字社 岐阜県支部

Japanese Red Cross Society

T500-8601 岐阜市西部中島2-9

TEL 058-272-3561 <http://www.gifu.jrc.or.jp/>

赤十字の活動は、皆様からの社会で支えられています



「はたちの献血」
キャンペーン スタート

冬の季節は、体調を崩す方が多く、献血者は減少しがちです。安全な血液製剤を安定的に確保するため、1月1日(水)から2月28日(金)までの2か月間、新たに成人を迎える「はたち」の若い方々を中心に、献血への理解と協力をお願いしていきます。今年も沢井咲さんをキャンペーンキャラクターに起用し、特に400mL献血、成分献血の継続的な協力を呼びかけます。

CONTENTS

赤十字フェアを開催	2	岐阜県赤十字有功会研修旅行	7
JRC作品コンクール入賞作品(絵画)	2	赤十字奉仕団中堅団員研修会	7
JRC作品コンクール入賞作品(習字)	4	ハイゼックスレシピ	7
全国初! 高山赤十字病院 重症心身障がい児者訪問看護活用モデル事業	6	JRC加盟校が三角巾、ハイゼックスを体験	8
施設合同救護訓練	6	赤十字講習会のご案内	8
献血感謝の集い	6	岐阜県支部 お知らせ	8

赤十字フェアを開催 ～もっと身近に赤十字～

11月の2日間(3日、9日)、多治見市と大垣市において、「平成25年度赤十字フェアぎふ」を開催しました。「赤十字フェア」とは、赤十字の活動を地域の多くの皆さまに知っていただくことを目的としたイベントです。

両会場には、多くの方が訪れ、赤十字の様々な活動を紹介したパネルや、災害時に被災者へ配布する救援物資(緊急セット、安寝セット)を見学していただきました。また、大賞好評をいただいている「ちびっ子記念撮影会～救護服・ナース服を着て赤十字を体験しよう～」のコーナーでは、総勢329名(多治見会場227名、大垣会場102名)の子ども達に参加いただきました。子ども達は、看護師や救護員になりきり、素敵な笑顔でカメラに取まっていました。

また、大垣会場では、JRC加盟校から応募いただいた絵画及び習字の「作品コンクール」表彰式を行いました。応募作品の中から選ばれた83点の入賞のうち、表彰式に参加した57名に賞状を授与しました。多くの方が見つめる中、受賞者は緊張した面持ちで、特設ステージの上で賞状を受け取りました。最後は、ステージにみんな集まり、記念写真をパチリ!素敵な表彰式でした。

このイベントは、一人でも多くの方々に、赤十字への理解と協力をお願いするために、毎年行っていますので、是非、ご来場ください!



作品コンクール受賞者記念写真(大垣会場)

JRC作品コンクール入賞作品

絵画の部



岐阜県知事賞
養老町立上多摩小学校
2年 目加田 葉月



岐阜県議会議員賞
養老町立上多摩幼稚園
5歳 菅野 太誠



岐阜県教育委員会教育長賞
養老町立地辺小学校
2年 松永 莉子



岐阜県青少年赤十字指導者協議会会長賞
養老町立日古幼稚園
6歳 谷 咲央理



岐阜県青少年赤十字賛助奉仕団委員長賞
福寿川町立福寿小学校
6年 牧村 楓



岐阜県赤十字有功会会長賞
 可見市立雫子小学校
 3年 亀谷 幸輝



高山赤十字病院院長賞
 各務原市立川島小学校
 5年 脇田 あゆり



岐阜県赤十字血液センター所長賞
 養老町立上多度小学校
 2年 目加田 大蔵



日本赤十字社岐阜県支部事務局長賞
 輪之内町立大藪小学校
 6年 白石 琳乃



岐阜赤十字病院院長賞
 瀬濃市立瀬濃小学校
 1年 萩尾 穂香

優秀賞 絵画の部

【幼稚園】	養老町立養老幼稚園	6歳	川瀬 幸貴	
	養老町立上多度幼稚園	5歳	志知 加奈絵	
	養老町立日吉幼稚園	6歳	草岡 美咲	
	養老町立日吉幼稚園	6歳	川原 菜央	
	養老町立日吉幼稚園	5歳	浅野 いちご	
	養老町立日吉幼稚園	6歳	大岡 京太郎	
	養老町立日吉幼稚園	5歳	小林 颯斗	
	池田保育園	5歳	浅野 怜央	
	【保育園】	瑞穂市立穂積小学校	2年	勝野 敬太
		大垣市立南小学校	6年	政井 菜々美
大垣市立江東小学校		6年	早藤 優希	
大垣市立中川小学校		3年	岡田 真絵	
養老町立上多度小学校		2年	大橋 奏太	
養老町立上多度小学校		3年	堂野 舞	
養老町立上多度小学校		5年	日比 美月	
神戸町立北小学校		5年	山口 巧郎	
輪之内町立大藪小学校		6年	小倉 幸子	
藤上市立明宝小学校		4年	林 さくら	
【小学校】	藤上市立明宝小学校	6年	田口 木乃鏡	
	可見市立東明小学校	3年	市岡 咲来	

習字の部



岐阜県知事賞
各務原市立織沼第二小学校
6年 横山 千菫



岐阜県議会議員賞
神戸町立神戸中学校
3年 寸田 紗矢香



岐阜県教育委員会教育長賞
岐阜大学教育学部附属小学校
5年 山崎 華佳



岐阜県青少年赤十字
指導者協議会会長賞
岐阜県立海津明誠高等学校
1年 久野 菜月



岐阜県青少年赤十字
指導者協議会会長賞
大垣市立江栗小学校
4年 大橋 知莉



岐阜県青少年赤十字
奨励奉仕団委員長賞
各務原市立織沼第一小学校
6年 竹村 果倫



岐阜県青少年赤十字
奨励奉仕団委員長賞
各務原市立織沼第二小学校
4年 米山 明里



岐阜県赤十字有功会会長賞
岐阜県立海津明誠高等学校
1年 渡辺 真由



岐阜県赤十字有功会会長賞
大垣市立興文中学校
1年 横山 凜



日本赤十字社
岐阜県支部事務局長賞
各務原市立織沼第二小学校
5年 山崎 由香里



日本赤十字社
岐阜県支部事務局長賞
岐阜県立海津明誠高等学校
1年 堀江 鞠花

系系賞中一年
国際理解
 系系賞中一年

高山赤十字病院院長賞
 本巣市立系系中学校
 1年 河野 真想

**健康
 安全**

高山赤十字病院院長賞
 大垣市立江菘中学校
 3年 北田 風芽

**国際
 理解**

岐阜赤十字病院院長賞
 大垣市立聖和中学校
 2年 神谷 優月

健康第一

岐阜赤十字病院院長賞
 岐阜県立海神明誠高等学校
 2年 高殿 葉月

献血運動

岐阜県赤十字血液センター所長賞
 聖マリア女学院高等学校
 2年 石井 杏佳

国境なき支援

岐阜県赤十字血液センター所長賞
 大垣市立志城中学校
 2年 木村 江里

優秀賞 習字の部

【小学校】

各務原市立那加第三小学校	4年	田中 美琉
各務原市立鷺沼第二小学校	5年	村山 陸
各務原市立鷺沼第二小学校	5年	吉澤 駿希
各務原市立鷺沼第二小学校	6年	近藤 美怜
各務原市立藤原第一小学校	4年	小林 千恋
各務原市立藤原第一小学校	6年	赤塚 龍雅
本巣市立真桑小学校	4年	安江 来愛
本巣市立席田小学校	5年	大野 綾葉
大垣市立興文小学校	4年	高木 愛可
大垣市立興文小学校	4年	加藤 海鈴
大垣市立南小学校	6年	樽瀬 季咲
大垣市立安井小学校	6年	松坂 有希
大垣市立安井小学校	6年	堀田 真矢
大垣市立静黒小学校	4年	米澤 奈央
大垣市立江東小学校	5年	大月 陽愛
御妻川町立小島小学校	5年	岩井 絃音
池田町立池田小学校	6年	増元 愛玲
関市立下有知小学校	5年	横山 愛華

【中学校】

羽島市立竹鼻中学校	3年	不破 優祈
大垣市立興文中学校	1年	早崎 友香
大垣市立興文中学校	1年	久保寺 梓
大垣市立興文中学校	2年	渡邊 紗里那
大垣市立興文中学校	3年	小峯 美佑奈
大垣市立東中学校	3年	松崎 華子
大垣市立西中学校	2年	日比 彩乃
大垣市立北中学校	3年	倉輪 実希
大垣市立北中学校	3年	近藤 唯希
大垣市立江菘中学校	1年	小中 万依
大垣市立江菘中学校	1年	菊田 珠奈
大垣市立江菘中学校	2年	千葉 山佳
大垣市立赤坂中学校	2年	大橋 佑南
大垣市立西部中学校	1年	内藤 綾葉
大垣市立聖和中学校	2年	高橋 慧香
神戸町立神戸中学校	2年	白井 綾葉
掛斐川町立掛斐川中学校	3年	浅利 美月
八百津町立八百津中学校	1年	古田 奈津季

保護者の負担を軽減 重症心身障がい児者訪問看護活用モデル事業 全国初!高山赤十字病院で実施

新生児医療の進歩により救命される児が多くなる一方で、現行の制度では、継続的な医療的ケアが必要な状態であっても、退院しなければならない状況にあります。人工呼吸器装着など高度の医療的ケアを必要とする重症心身障がい児者の介護は、24時間保護者に頼りきりになっていることも多く、保護者に大きな負担がかかっています。そのため、重症心身障がい児者が在宅・地域で暮らしていくには医療機関、訪問看護ステーション、福祉サービス事業所や行政等の多くの支援機関が連携し、児と家族をサポートしていく必要があります。しかし、飛騨地域はこのような児を支える医療・福祉資源が乏しい現状であり、特に短期入所については、高いニーズがありながら利用できる施設がなく、これまで岐阜県や関係機関と当事業について協議を重ねてきました。

このたび創設された事業は、日頃ケアを行っている外泊訪問看護ステーションの看護師を、一時的に当院の非常勤職員として雇用し、なじみのある訪問看護師と共に当院小児科病棟に短期入所するものです。いつも訪問してくれる看護師が継続して児をケアすることで、児や家族が安心して短期入所することができます。

今年度は、7月から10月の4ヵ月間で2名の方が計5回利用されました。ご家族から「初めて家族で外出ができ、姉2人が大変喜んだ。」「いつもは夜間の吸引が頻回で寝ませんが、今日はぐっすり寝ることができました。」「天婦で出かけることができなかったが、ゆっくり買い物できました。」と喜びの声を聞くことができました。

小児在宅医療は、家族の熱意によって支えられている部分が大いと言われていますが、高齢者のみならず、療養の場を在宅へと転換していく国の方針のなかで、今ある医療・福祉資源や関係機関との連携を有効活用する努力や工夫が必要です。このモデル事業を通して、福祉と医療の連携が更に進むように、行政と密接な連携を図りながら進めていきたいと考えています。



平成25年度 日本赤十字社岐阜県支部主催施設合同救護訓練を開催!

平成25年10月4日(金)・5日(土)、県内赤十字施設合同の救護訓練を高山市で行いました。

今回は、高山市を震源とした大規模地震被害に対する巡回診療訓練と病院での患者受入訓練の2部構成で実施いたしました。

訓練は他に、高山市防災担当課や消防、保健所、久美愛学生病院、JRC加盟の中学校(朝日中、国府中)の協力を得て、避難所アセスメントや臨時救護所の立ち上げ訓練の他、衛星電話等を駆使した情報伝達訓練も同時に実施しました。

夜間には診療を終えた高山赤十字病院を舞台に患者の受入訓練を行い、エレベーターが使えない状況を想定するなど実践想定の中でのトリアージや救急診療について取り組みました。また、翌日には救護班員研修として、被災者へのこころのケアや、災害などで家族を亡くされた方への対応などについて、シミュレーションを交えた体験学習を実施しました。



避難所アセスメント(実施詳細)

「献血感謝の集い」開催!

平成25年10月30日(水)羽島市文化センターみのぎくホールにおいて、県内の献血者・献血推進団体に対する日頃の献血へのご協力を感謝するとともに、献血運動を県民的な運動として盛り上げ、さらなる献血意識の向上を図ることを目的に「平成25年度 献血感謝の集い」を開催しました。

式典では、献血推進に功績のあった個人・団体の表彰が行われ、今年度は個人238名・55団体に感謝状が贈られました。

また、講師に古美術鑑定家として幅広く活躍されている中島誠之助さんをお招きし、「[目利き]の人生談義」と題して、古美術にかかわった半生について講演いただきました。数日前に、岐阜で収録があった「開運!なんでも鑑定団」のお話を交え、古美術商40年の経験に裏付けされた鑑定眼から導かれる、奮切りの良い江戸っ子トークで会場は大変盛り上がりしました。お忙しい中、多数の皆様にご参加いただきありがとうございます。今後とも、献血運動へのご理解ご協力よろしくお願いたします。



献血感謝の集い会場



中島誠之助講師

岐阜県赤十字有功会研修旅行 ～京都時代の新島八重にふれて～

NHK大河ドラマ「八重の桜」でおなじみ、赤十字との関係も深い新島八重を偲び、有功会員等関係者35名が参加して、10月7日(月)に京都への研修旅行を開催しました。

研修では、同志社大学元教授本井康博氏に「京都時代の新島八重～大河ドラマ うら-おもて～」と題して講演いただき、八重の人物像やドラマの裏話など、興味深い話を聞くことができました。また、講演の後には、実際に新島八重が居住していた新島旧邸を訪れ、八重が生きた時代や生活空間をじっくりと堪能しました。

岐阜県赤十字有功会研修旅行に参加して

会員 松下 優彦

今年の研修旅行の一番の上首尾は、本井康博氏(同志社大学元教授)の講演でした。NHKで放送中の大河ドラマ「八重の桜」京都編の時代考証を担当しており、講演の中で、ドラマ以前は、「新島八重」は地元会津でも大きな存在ではなかったり、大山捨松さんや瓜生岩子さんたちが、看護婦として先輩であった等、色々な裏話を聞いてきました。三十三間堂にも参拝でき、素敵な京都旅行を楽しみました。



新島旧邸前で記念撮影

講師 本井康博氏



赤十字奉仕団中堅団員研修会

9月30日～11月11日の5日間、県内5会場(東濃、中濃、西濃、岐阜、飛騨)にて赤十字奉仕団の中核を担う団員の研修会を実施しました。この研修では、中堅団員がリーダーのサポーターや団員へのアドバイザーとしての知識と技術を身につけることを目的としています。

内容は、先輩団員である支部指導講師による「中堅団員とは」と題した講話、「炊飯袋を使った炊き出し」や「三角巾を使った救急法」などの講習です。講話では先輩の話にメモをとる姿が、講習ではみんなで協力して技術を身につけている姿が印象的でした。研修後に参加者へ炊きあがった熱々のご飯を配布し、自宅での試食を楽しみにされながら家路につかれました。

参加者からは、「赤十字の講習をもっと受講したい」や「学んだことを地域での活動に生かしたい」という声があり、盛況のうちに終了しました。



赤十字奉仕団支部指導講師の講話

ハイゼックス(災害時包装食)レシピ②

今回紹介するハイゼックスレシピは、装賞に輝いた神戸赤十字奉仕団の「だし入りたまご焼き」です。身近な材料で簡単に調理できるような考えられました。柔らかくて優しい味で、高齢者から乳幼児にも食べやすく、幅広い年齢層の料理として最適です。



- 【作り方】**
1. ガーolに卵(3個)を入れ、よくかき混ぜる。
 2. お湯の中に熱水カップオダシ等の調味料を入れ湯がす。
 3. 湯の中に上記2を入れてかき混ぜる。
 4. 炊飯袋の中に卵付けした卵を入れて、箸で詰める。
 5. 水のつちに炊飯袋を入れ、沸騰した湯に20分茹でる。
 6. 茹であがったら、下ろし大根などを添えて器に盛り付ける。

神戸赤十字奉仕団	
【材料】(1袋分)	
材料名	分量
卵	M3個
お湯	大さじ2
【調味料】	
熱水カップオダシ	小さじ1/2
みりん	小さじ1
しょうゆ	小さじ1
砂糖	大さじ1
塩	2つまみ

- 【コツ】**
- 炊飯袋の口を平べたりに折り蓋してから、だし液を入れ、空気を抜きながら箸で詰める。
- 【ポイント】**
- 一度にたくさん作ることが可能。
 - 炊飯袋から簡単に取り出せる。
 - こへリっかない、焦げ付かない、油がいらぬし。



炊飯したお弁当神戸赤十字奉仕団員

油がいらぬヘルシーで、焦げつくこともありません! 最初は、綺麗に仕上がるかな?と、不安でしたが、とっても簡単に美味しく出来ました!「ちゃんと卵焼きになっている」と職員一同が驚きました。柔らかくて優しい味で、若者男女問わず好きになること間違いなしです!

担当者 K

JRC加盟校が三角巾、ハイゼックスを体験 ～日新小学校が「親子防災訓練」を実施～

大垣市の日新地区社協と日新小学校は、合同で5,6年生の親子を対象に10月18日(金)防災訓練を開催しました。訓練では、煙体験等のほか、ハイゼックスを利用した炊き出しや三角巾の使い方などを赤十字奉仕団員や赤十字救急法指導員に指導を受けながら、真剣に、且つ楽しく体験していました。

■児童の感想

「救急法の三角巾を使った手当ては、JRCレセンでも経験し分かっていたので周りの子を手伝うことができました。非常食では袋の中にお米と水を入れればできるということに驚きました。今日、体験したことをいざという時に生かせるようにしたいと思います。」

「傷の手当てについて習いました。三角巾を使って、どうしたら血を止めることができるのか分かったので生活の中で生かしたいです。」



ハイゼックス利用、炊き出し

三角巾を使った傷の手当て



赤十字講習会のご案内

命と健康を守る赤十字講習会に是非ご参加ください。

講習会名	日 時	会 場
救急法基礎講習	2月9日(日)	日赤岐阜県支部 3階大会議室
救急法救急員養成講習 <small>※対象:救急法基礎講習修了者</small>	2月16日(日)-23日(日)	日赤岐阜県支部 3階大会議室
健康生活支援講習支援員養成講習	2月24日(月)-25日(火)-3月3日(月) 2月27日(木)-28日(金)-3月6日(木)	岐阜赤十字病院 南館 2階講堂 高山赤十字介護老人保健施設はなさと
災害時高齢者生活支援講習(短期講習)	2月13日(木)	日赤岐阜県支部 3階大会議室
こころとこころの架け橋講習(短期講習)	2月14日(金)	日赤岐阜県支部 3階大会議室
癒しのハンドケア(短期講習)	2月17日(月)	日赤岐阜県支部 3階大会議室
リラクゼーション(短期講習)	2月18日(火)	日赤岐阜県支部 3階大会議室

※講習の一部を異動しています。詳細及び申込方法は岐阜県支部ホームページでご覧いただけます。

岐阜県支部 お知らせ

「NHK海外たすけあい」募金キャンペーンについて

12月1日から25日までのキャンペーンでは、多くの皆さまにご協力いただき、誠にありがとうございました。

平成25年11月30日現在で岐阜県支部に寄せられた義援金・救済金は次のとおりです。

義援金・救済金名	金 額	受付期間
東日本大震災義援金	1,938,924,666円	平成26年3月31日まで
平成25年夏島根県西部大雨災害義援金	250,899円	平成25年9月30日まで
山口県平成25年7月28日大雨災害義援金	217,725円	平成25年9月30日まで
岩手県平成25年豪雨・大雨災害義援金	218,507円	平成25年9月30日まで
秋田県大雨災害義援金	217,022円	平成25年9月30日まで
埼玉県竜巻災害義援金	256,751円	平成25年10月31日まで
埼玉県台風18号災害義援金	164,365円	平成25年10月31日まで
平成25年9月京都府台風18号災害義援金	179,982円	平成25年11月29日まで
平成25年滋賀県台風18号災害義援金	144,403円	平成25年11月29日まで
鹿児島県奄美南部台風第24号災害義援金	113,720円	平成25年12月17日まで
伊豆大島等台風26号災害東京都義援金	224,425円	平成26年1月31日まで
千葉県茂原氏台風26号災害義援金	23,720円	平成25年12月31日まで
シリア人道危機救済金	21,521円	平成26年3月31日まで
2013年フィリピン台風災害救済金	248,486円	平成26年2月28日まで

皆さまの温かいご協力に
心から感謝いたします。

ありがとう
ございました

